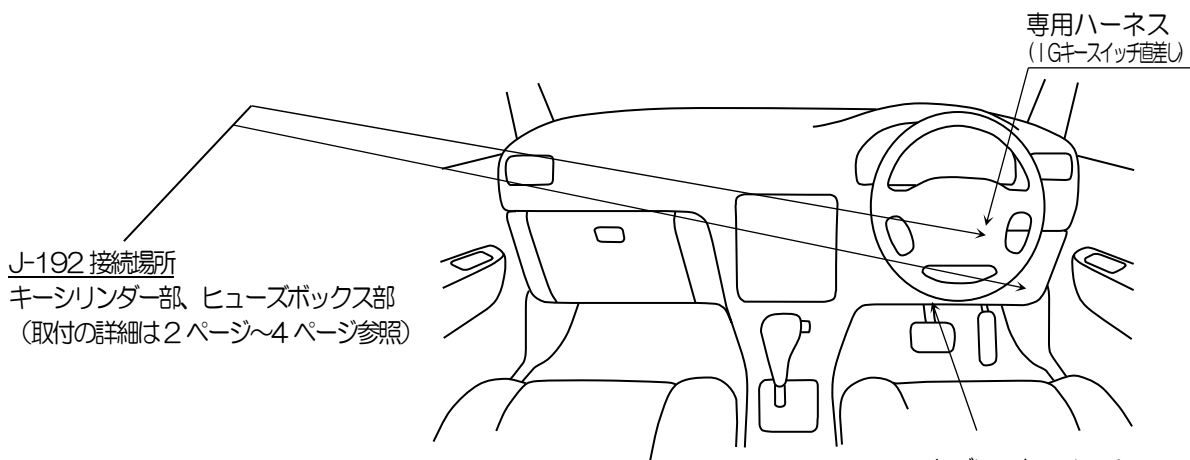


車種別接続情報

管理 No. H-0087 (1/7)

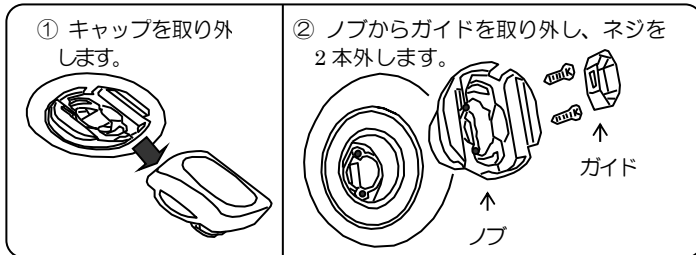
メーカー	ホンダ	車体型式	GB3~4
車種	フリード スパイク (スマートキー装備車)	年式	H22.7~H28.9
専用ハーネス	H-119 & J-192		

- エンジンモビライザー対応のエンジンスターター(VE-E33,E34,E35,E1,E1kty,E2,E21,E22,E23,E24,E200R,E220R,ZP1,VET-E25,E130R,E133R,E150R,E155R,E50RY,E300R,E330R 除く)のみ取り付け可能です。
- P・ポジション自動検出機能は使用できません。
ブレーキ検出線(茶)をフットブレーキスイッチ配線に接続してから、P・ポジション自動検出の設定(ターボタイマー機能を使用しない場合の設定方法)を行ってください。
- エンジンスターターの設定項目でIG設定をIG1に変更してください。
- エンジンスターターの設定項目でグロー時間を2秒に変更してください。
- ターボタイマー機能は、使用できません。
- ドアロック機能を使用する場合、別売品は必要ありません。
J-192の2Pin(青線、黄線)コネクタをエンジンスターターのセンサーハーネス キーレスエントリー接続コネクタへ接続するとドアロック制御が可能です。



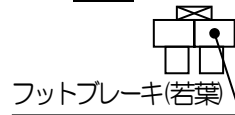
スマートキー装備車は、コラムカバーを取り外すために下記手順でイグニッションスイッチ・ノブを外します

イグニッションスイッチ・ノブの取り外し方

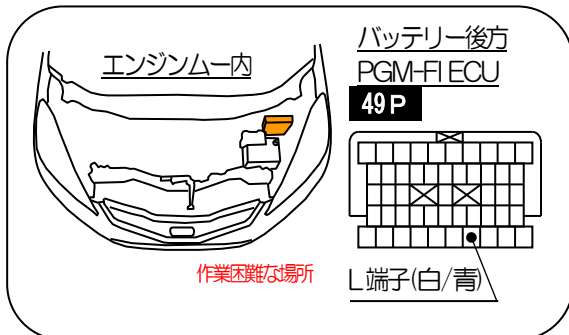


フットブレーキスイッチ

4P (乳白色)



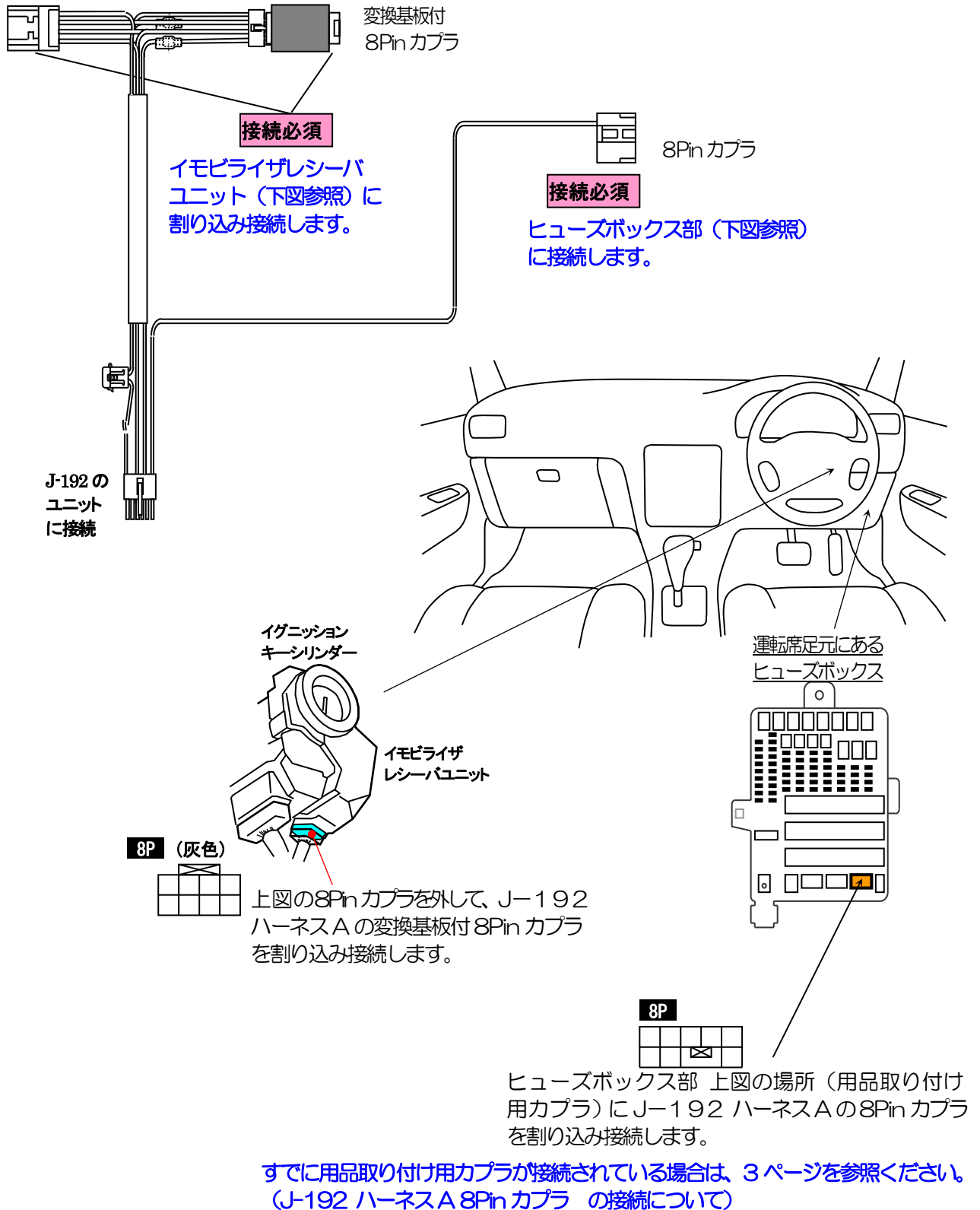
< オルタネータ線を接続する場合 >



エンジンの始動性が悪い(かかっても止まるなど)場合は、上図を参照してL端子(オルタネータ配線)の接続を行ってください。

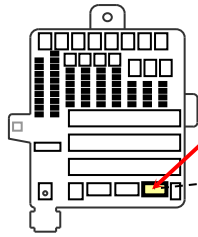
メーカー	ホンダ	車体型式	GB3~4
車種	フリード スパイク (スマートキー装備車)	年式	H22.7~H28.9
専用ハーネス	H-119 & J-192		

J-192 ハーネス A の接続



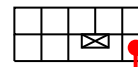
J-192 ハーネス A 8Pin カプラ の接続について

すでにヒューズボックス部 8Pin カプラ(用品取り付け用カプラ)が接続されている場合にご覧ください。
 ※ヒューズボックス(下記)の場所が、空きカプラの場合、このページの内容は必要ありません。



この場所にすでにカプラが接続されている場合の接続方法となります

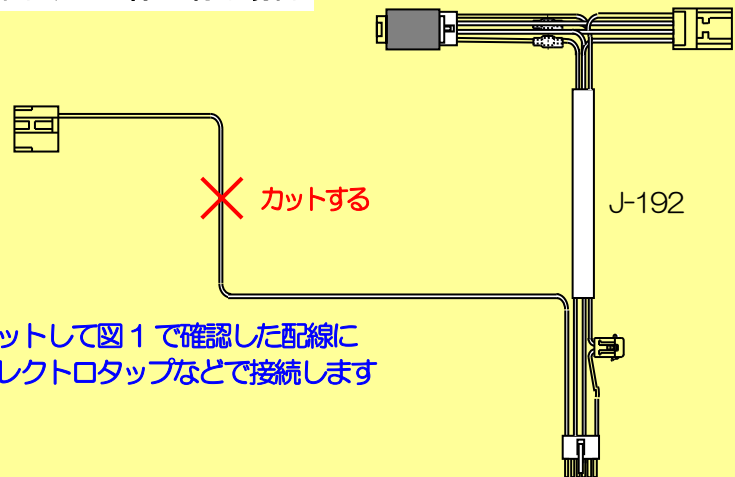
図1



すでに接続されていた用品取り付け用カプラ

上記の場所で配線の有/無を確認します

●ヒューズボックス部 8Pin カプラ(図1)に配線が有る場合

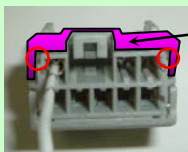


●ヒューズボックス部 8Pin カプラ(図1)に配線が無い場合

J-192 ハーネス A 8Pin カプラより配線を抜き、車輛側のカプラに差し替えます

<端子付配線の外し方/接続>

1.リテーナを外す(浮きあげる)



リテーナ
(紫部分)

赤丸部分にツメがあり、外側に広げるとリテーナが浮き上がります



2.ピンセットなど先の細い物を写真の位置に差し込み、配線を抜く



端子とツメの間(赤線部分)に、先の細いピンセットなどを差し込むと端子のロックが外れます

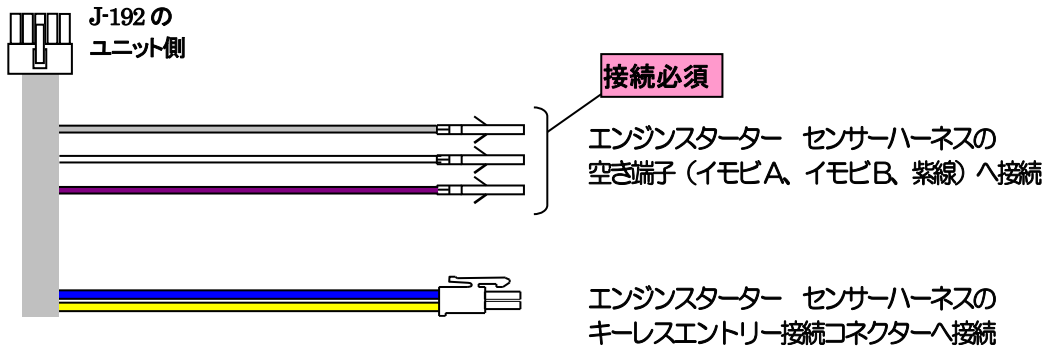


3.ヒューズボックス部にすでに接続されているカプラを一度ヒューズボックスから外し、リテーナを上記、1.の手順で外す

4.2.の手順で外した端子つき配線をすでに接続されているカプラの図1の位置にきちんと差し込み、リテーナを元にもどして、カプラをヒューズボックスに差し込む

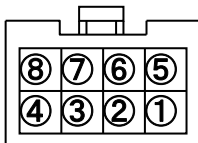
メーカー	ホンダ	車体型式	GB3~4
車種	フリード スパイク (スマートキー装備車)	年式	H22.7~H28.9
専用ハーネス	H-119 & J-192		

J-192 ハーネス B の接続



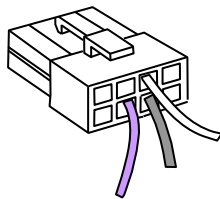
*** 接続を行うと、エンジンスタートのドアロック機能(ドアロック/アンロック操作)がご使用できます (J-192 の取り付けを行うことでドアロック機能が可能となるため、ドアロック機能用の別売品は不要です)**

センサーハーネスが8ピンタイプでの接続

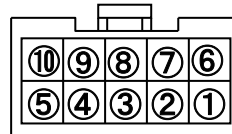


スターターユニットのセンサーハーネス (コネクター2) が 8ピンのコネクタ

- ② 端子…イモビ対応アダプターの灰/黒線を接続します
 - ⑥ 端子…イモビ対応アダプターの白/黒線を接続します
 - ③ 端子…イモビ対応アダプターの紫線を接続します。
- * 他の端子には接続しないでください。

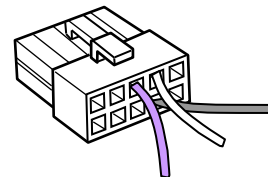


センサーハーネスが10ピンタイプでの接続



スターターユニットのセンサーハーネス (コネクター2) が 10ピンのコネクタ

- ② 端子…イモビ対応アダプターの灰/黒線を接続します
 - ⑦ 端子…イモビ対応アダプターの白/黒線を接続します
 - ⑧ 端子…イモビ対応アダプターの紫線を接続します。
- * 他の端子には接続しないでください。



イモビ対応アダプターJ-192の登録

登録の前に

J-192の登録を行う前に、必ず、エンジンスターターで次の設定を行ってください。

- **Pポジション検出** (ターボタイマー機能を使用しない場合の設定方法を行います)

その後、以下の手順でJ-192の登録作業を行います。

J-192のID登録手順

イモビID登録作業は、ドアがアンロックの状態で行ってください。

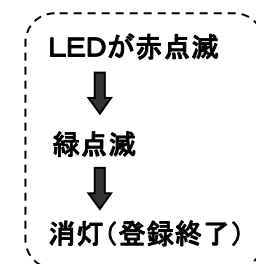
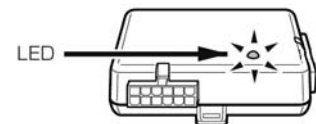
- 1 キーシリンダーに**メカニカルキー**を差し込みます。(差し込んだままにします)

IDが未登録のとき(初めて取り付けしたとき)は電源をONと同時にLEDが赤点滅します。

- 2 エンジンスターターのリモコン操作でエンジン始動を行います。

LEDが赤点滅 → 緑点滅 → 消灯することを確認します。

* 緑点滅動作は短時間で行われ、消灯に変化します。



- 3 エンジンスターターのリモコン操作でエンジンを停止し、キーシリンダーからキーを抜き取ります。

LEDが変化しない場合、配線の接続先を確認し、再度、**1** から登録作業を行ってください。

以上で登録作業は完了です。リモコン操作でエンジン始動の確認をしてください。

メーカー	ホンダ	車体型式	GB3~4
車種	フリード スパイク (スマートキー装備車)	年式	H22.7~H28.9

フリード スパイク (スマートキー装備車) でエンジンスターターをご使用されるお客様へ

エンジンスターターで始動を行うと、下記の動作が伴います

- 自動的にエアコンの設定温度が 25℃に設定され動作します。
- 外気温が低温時 約 7.5℃以下の場合、デフロスターも自動的に動作いたします

*降車する時、エアコンが OFF の状態でも、エンジンスターターでエンジン始動を行うと自動的にエアコンの設定温度が 25℃で動作します。

* J-192 を使用した時の動作仕様であり、正常動作となります。

また、エンジンスターターでのエンジン始動に伴うオートエアコンの動作は、以下の操作で ON (自動動作する) / OFF (自動動作しない) を変更することができます。

● エンジンスターターでの始動時に伴う、オートエアコンの ON /OFF の設定方法

設定を行なうには、メカニカルキーが必要となります

<手順>

- キー (メカニカルキー) をキーシリンダーに差込み、10 秒以内にキーを ON の位置まで回し OFF に戻す操作を 5 回繰り返します

* 同じ手順を再度行なうと、エンジンスターターでのエンジン始動時にオートエアコンが自動的に 25℃に設定され動作するようになります。

メーカー	ホンダ	車体型式	GB3~4
車種	フリード スパイク (スマートキー装備車)	年式	H22.7~H28.9

オートキーレスシステム (VE-K*) を取付ける場合の接続方法

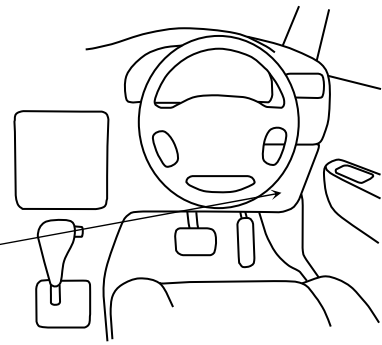
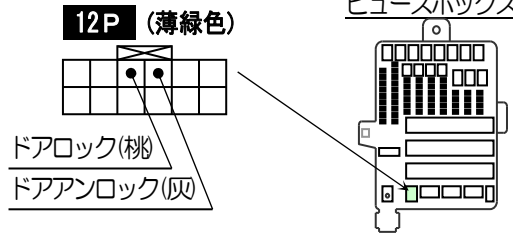
＜ オートキーレスシステム (VE-K*) を単体でご使用する場合 ＞

- オートキーレスシステム(VE-K*)をご使用するための別売品は不要です
- オートキーレスシステム(VE-K*)のみ取り付ける場合、J-192 は使用しません

オートキーレスシステム (VE-K*) に付属されているキーレスエントリー線 (青/黒、黄/黒線) を下図の場所に接続してください。

VE-K*の青 / 黒線 (ドアロック)
→車輻側 桃線 (ドアロック) に接続

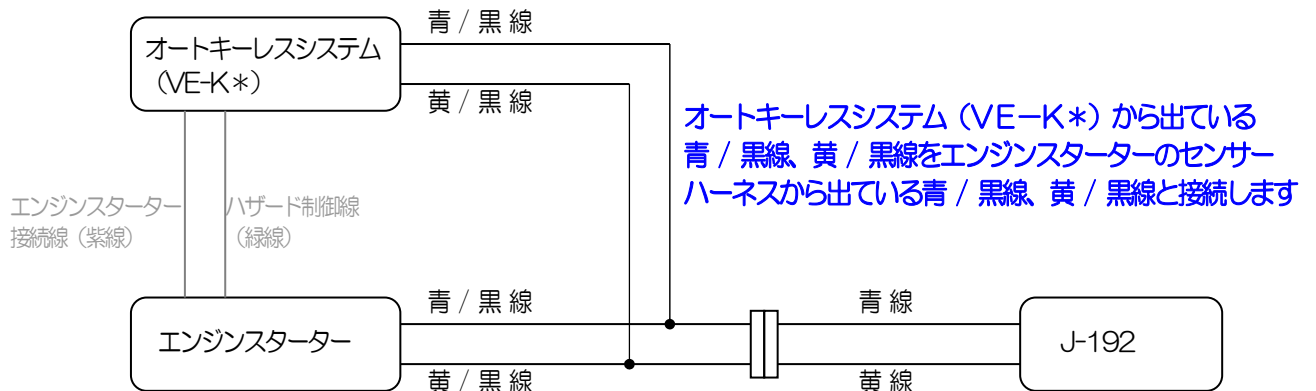
VE-K*の黄 / 黒線 (アンロック)
→車輻側 灰線 (ドアアンロック) に接続



＜ オートキーレスシステム (VE-K*) とエンジンスターターを併用してご使用する場合 ＞

- オートキーレスシステム(VE-K*)をご使用するための別売品は不要です

オートキーレスシステム (VE-K*) に付属されているキーレスエントリー線は使用しません



ワイパー制御アダプター取り付け情報

管理 No. H-0087

メーカー	ホンダ	車体型式	GB3~4
車種	フリード スパイク	年式	H22.7~H28.9

ワイパー制御アダプター J-12

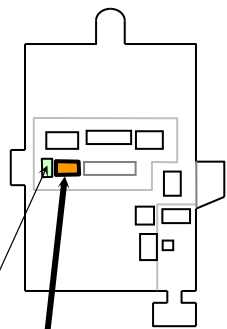
注意事項

J-12の取り付け場所は、ヒューズボックス裏側になり、接続位置のすぐ近くには、エアバックのコネクターがあります。
安全に作業を行うために、バッテリーのマイナス端子を外し約3分経過してから作業を行ってください。

エアバックのコネクターがショートするとエアバックが作動する恐れがあります。
 取り付け作業時には、車両の安全装置や運行装置の動作に支障の無いよう配線の引き回しを行ってください。

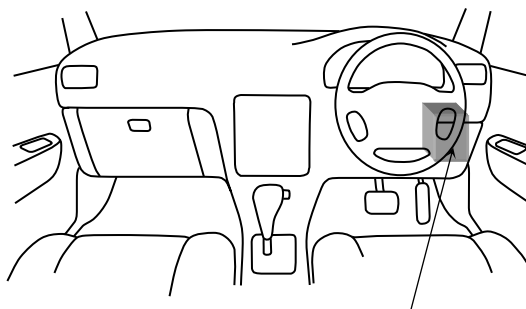
取り付け場所

ヒューズボックス部裏側

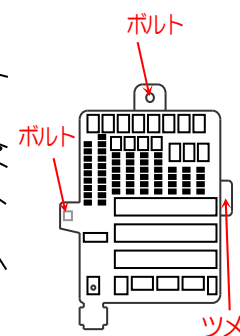


J-12 接続位置(16Pin カプラ 白色)

<注意>
 エアバック用 コネクター (黄色) が隣にあります。
 コネクタ (黄色) を外さないように作業を行ってください。
 コネクター内の端子がショートするとエアバックが開く恐れがあります。



ヒューズボックス部

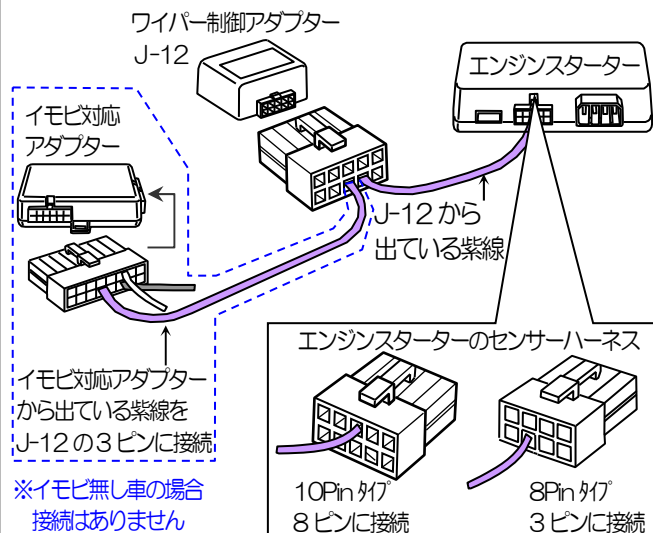


ヒューズボックスを固定しているボルト2箇所を外し、右側面に有るツメ1箇所を外すと、ヒューズボックスが手前に傾きます。
 ヒューズボックスの裏側に接続されているコネクタを確認し、エアバック用のコネクタ (黄色) に注意し作業を行ってください。

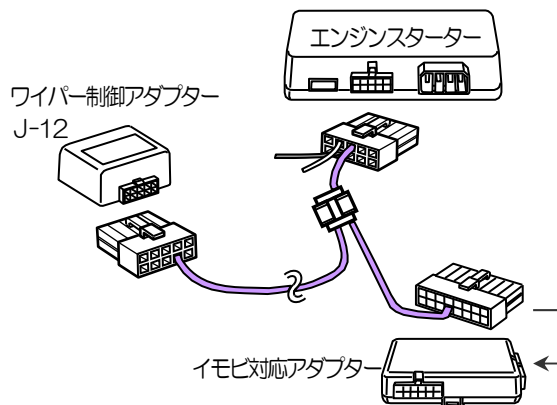
配線接続方法

J-12 から出ている赤線は常時電源へ接続し、紫線は下記の接続方法となります

<イモビ無し車の場合>
 <新たにエンジンスタターを取り付ける場合>



<イモビ付車ですでにエンジンスタターを使用している場合>



エンジンスタターのセンサーハーネスにすでに接続されている紫線に、J-12 の紫線をエレクトロタップを使用して接続いたします。